

# 被災地方言会話集

— 宮城県東松島市 —

## <場面設定会話>

### 場面設定会話の概要

収録地点	宮城県東松島市宮戸		
収録日時	2012（平成 24）年 7 月 14 日		
収録場所	宮城県東松島市宮戸字二ツ橋 宮戸小学校仮設住宅		
話題	【場面設定会話】 全 13 場面		
話者			
A	男	1934（昭和 9）年	（収録時 78 歳） [B の親戚]
B	女	1949（昭和 24）年	（収録時 63 歳） [A の親戚]
話者出身地			
A	東松島市宮戸 ※10 歳まで神奈川県横浜市		
B	東松島市宮戸		

【場面設定会話】

話し手

A 男 1934 (昭和 9) 年 (収録時 78 歳)

B 女 1949 (昭和 24) 年 (収録時 63 歳)

〈 あいさつ 〉

(1) 朝、道端で友人に会ったときにどのようなやりとりを行うか。

001A : アー Bちゃん ナン オハヨー。ドコサ イグノ。ン。

ああ Bちゃん ×× おはよう。どこに 行くの？ん。

002B : アラ オンツァ、ハエーゴダ ナンダヤ。キョーワネヤ、アワビトリ

あら おじさん、早いこと まあ。 今日ね、 あわびとり[を]

ヤッカラ ウミ ナンジョナ モンダカナードオモッテ

やるから 海[が]どんな ものだかなと思って

メッサチタンダケッドモ。

見に来ただけだね。

003A : アー。

あー。

(2) 昼、道端で友人に会ったときにどのようなやりとりを行うか。

001A : オー ズンツァン ナニスッタ。 [1]

おお [Bの家の]じいさん[は] 何しているの？

002B : ア キョーネ デガゲダヨ。フロサ イグッテ イッタネ。

あ 今日ね 出かけたよ。風呂に 行くって 行ったね。

003A : アー {笑} ダレト イッタン。

ああ {笑} 誰と 行ったの？

004B : バーチャント イッタ。  
ばあちゃんと 行った。

005A : バーチャント イッダ。 アー イーヨナ。ナカイーガラナ。  
ばあちゃんと 行ったの? ああ いいよね。仲良いからね。

006B : ンー。  
うん。

(3) 夜、道端で友人に会ったときにどのようなやりとりを行うか。

001B : オバンデスー。ナンジョダベ、コンバン。 {笑} チョッコラ ホゴマデ  
こんばんは。 いかがですか、今晚。 {笑} ちよつと そこまで

イガネスカ。 {笑}  
[飲みに]行かないですか? {笑}

002A : ナーン アガレヤ イーガラ。 オライサ アガレヤ。 [2] ナ。 {笑}  
なに あがれよ いいから。 私の家に あがれよ。 ねえ。 {笑}

003B : ンデ チョッコラ アガッカラ。  
それでは ちよつと あがるかね。

〈 ねぎらい 〉

(4) Bが仕事に精を出すAと会い、Aの労をねぎらう際にどのようなやりとりを行うか。

001B : アーラ オンツァーン、(A アア) ウエギノ テイレシデダノー。  
あら おじさん、(A ああ?) 植木の 手入れしてたの?

002A : アー ンダ。 スコシ ノビデヤ、ホツツノ チューシャジョーノサ エダッコ  
ああ そうだ。少し 伸びて、 そっちの 駐車の場に 枝[が]

デデキタカラ ハサンデアンダ。  
出てきたから 切っていたんだ。

東松島市 場面設定会話

003B : アー ズイブン タゲクナッタンダモン、 マダ。 ダイジョーブガヤ。  
ああ ずいぶん [木が]高くなったんだね、また。 大丈夫かい。

(A アー) アツイカラ キオツケテヤンネート ダメダナヤ。

(A ああ) 暑いから 気をつけてやらないと 駄目だね。

004A : ハーイ ドーモ アリガトー。  
はい どうも ありがとう。

〈 勧め 〉

(5) Bが、仕事をしているAに、「少し休んでお茶とお菓子でも食べなさい」と勧める際のやりとり。

001B : マダ イップクヌ ズカン ナンネスカ。 スコス イップクステ  
まだ 一服の 時間[に]ならないですか。少し 一服して

オチャデモ ノンダラワー。

お茶でも 飲んだら[どう]?

002A : ハイ ドーモアリカトー。イマ アノ ヤスンベト オモッテアンダ。  
はい どうも有り難う。 今 あの 休もうと 思っていたんだ。

003B : アー ンデ チョード イガッタネ。  
ああ それでは ちょうど よかったね。

004A : アー タイミング イガッタ。 {笑}  
ああ タイミング よかった。 {笑}

〈 訪問時の声掛け 〉 [3]

(6) 昼間、AがB宅を訪れるときにどのように声をかけるか。また、返事をするか。

001A : Bチャン、イマ コイズ アノ モライモンダゲッド、スコスバリ  
Bさん、 今 こいつ あの もらった物だけど、 少しばかり

モッテキタンダケッドモ カネッスカ。

持ってきたんだけど 食べませんか。

東松島市 場面設定会話

002B : ウン。クー クー クー。 {笑} イッツモ ワルイネー、  
うん。食べる 食べる 食べる。 {笑} いつも 悪いね、

アリガトゴザイマース。  
ありがとうございます。

003A : ア ダッテ オライデモ イッツモ アノ ウメ ノリバ  
あ だって 私の家でも いつも あの うまい海苔を

カシラッテルモノ。 {笑} スコスバリデ オシヨスギットモ ドーズ。  
食べさせてもらっているもの。 {笑} 少しだけで 恥ずかしいけれど どうぞ。

004B : ハイ ドーモ、ンデ モラットグカラ。  
はい どうも、それでは 貰っとくから。

005A : ハーイ。  
はい。

〈 借用の依頼と受託 〉

(7) AがBに車(トラック)を借りるときのやりとり。(Bが貸す場合)

001A : アー Bチャン チョット クルマ カサネカヤ。  
ああ Bちゃん ちょっと 車 貸してくれないか?

002B : クルマ  
車?

003A : アン トラック カサネカヤ。  
うん トラック 貸してくれないか?

004B : ア ドコサ イク<sup>o</sup> ノ。  
× どこに 行くの?

005A : アー インマ ホラ、ワカメ ツッタナ スコシネ、Xさん  
あ 今 ほら、わかめ 採ったの[を]少しね、 Xさん[に]

東松島市 場面設定会話

モツテクベト オモツテ。  
持っていこうと 思ッテ。

006B :アー ンー ンデ ヌツテガイン。  
ああ うん それでは 乗ッテ行ッテ下さい。

007A :ンデ ワルイッド カリテンガラ。  
じゃあ 悪いけど 借リテいくから。

008B :ンデ チーツケテイッテゴザイン。  
じゃあ 気 [を]つッテ行ッテ下さい。

009A :アーイ ドモ アリガト。 ンデヤ。  
はい どうも ありがとう。それじゃあ。

〈 お礼 〉

(8) Aが借りた車をBに返しに行ったときのやりとり。

001A :アーイ ドーモ オカゲサンデ イッテキマシタ。  
はい どうも お蔭様で 行ッテ来ました。

002B : {笑} ンデ イガッタネー。  
{笑} それでは よかったね。

003A :ハーイ ドーモ。  
はい どうも。

004B :ハーイ。  
はい。

005A :オセワサマ。  
お世話様。

〈 破損の謝罪・許容・不満 〉

(9) AがBに借りた車を壊してしまい、謝るときのやりとり。

(9-1) Bが構わないという場合。

001A : マフラー フツチャケテヤー、モーター オトステナ {笑}  
マフラー 壊れちゃって、 もう 音がしてね {笑}

トメラッタンダ。アノ テラントコデ。 {笑}  
止められたんだ。あの 手樽 [4] のところで。 {笑}

002B : フルイガラ、アノ アイズ スオモノバリ ツンデッカラ オズンノ  
古いから、 あの あいつ 塩ものばかり つんでいるから 落ちるの[は]

アタリメダベ、 マフラ オズンノモ。  
あたり前でしょう、マフラー[が]落ちるのも。

(9-2) Bが破損に対して不満を述べる場合。

なし [5]

〈 誘いと断り 〉

(10) BがAを物産市に誘う際のやりとり。

001B : オンチャーン。コゴノモノネ、 ウル ブッサンイチツーノ  
おじさん。 ここのもの[を]ね、売る 物産市というの[を]

ヒラクンダトシャイ、イッテミネッスカ。  
開くのだってさ、 行ってみないですか？

002A : アー キョ キョー チョット ツゴー ワルインダワヤー。 ビズデ  
ああ ×× 今日[は] ちょっと 都合[が] 悪いんだよね。 別で

イカニヤイケネトコ アンダ。 ア アトデ ハナシ キカシテキライン。  
行かないといけないところ[が]あるんだ。× 後で 話[を] 聞かせて下さい。

003B : アー ンデ オラバリ イッテクツカワ。  
ああ じゃあ 私だけ 行ってくるかな。

004A : ンー タノムー。 ンデ。  
うん 頼む。 それじゃ。

005B : ハーイ。  
はい。

〈 お見舞い 〉

(11) 体調を崩しているAに、Bが体の調子を尋ねる際のやりとり。

(11-1) Aの調子がいい場合。

001B : オンチャーン、コシ イデッテ ュッテラッケ ナンジョナノ。  
おじさん、 腰[が] 痛いって 言っていたけど どうなの？

002A : ヤ コノアイダ ミテモラッテ アノ テンテキシテモラッテ  
いやね この間 みてもらって あの 点滴してもらって

イッカイデ ナオッタ。  
一回で 治った。

003B : ンデワ イガッタネー。  
それでは よかったね。

004A : ンー。  
うん。

(11-2) Aの調子が悪い場合。

001B : ホシテワー (A ンアー) ヒジャカブノホーフ、ヒジャカブモ  
それじゃあ (A うん) 膝頭の方は、 膝頭も

イデッテ ュッテタッタダネーノ。ナンジュ ナンジョナノガヤ。  
痛いって 言ってたんじゃないの？ どう どうなのかな？

002A : コナイダ ナーン ウマレテ ハズメテ バースノ ホジョセキサ  
この間 ××× 生まれて 初めて バスの 補助席に



東松島市 場面設定会話

エンキョリ ヌッシェラッテサ。 {笑} アーン シザ イダイト  
遠距離 乗せられてさ。 {笑} ××× 膝[が]痛い

カラダジュー イテーンダイワ。 アージミエダッテ。 イマカラワ  
体中 痛いんだよ。 初めてだって。 今からは

イガネワツツンダ、 ホイナドゴサ。 {笑} トッシヨリモノバ ホジョセキサ  
行かないわって言うんだ、そういう所に。 {笑} 年よりを 補助席に

ヌセテナヤ、アー オレ コイナヤズ ハジメテ ヌッタツツタケド  
乗せて、 ×× 俺 このようなものに 初めて 乗ったと言ったけど

ダーレモ カワルシト イネガッタ。  
誰も 替わる人 いなかった。

〈 申し出 〉

(12) 体の調子が悪く、家の片付けもできないというAに、Bが「(私が)片付けてやろう」というときのやりとり。

001A : ナーニ Bチャン カジギミデヤ、 (B ーン) タツタリネマッタリスンノ [6]  
何だ Bちゃん 風邪気味でね、 (B うん) 立ったり座ったりするの

シンデーンダー。ワルイギッドモ ココンニ アンノ チョット  
つらいんだ。 悪いけれども ここに あるもの ちょっと

トツテケネーカヤ。  
取ってくれないかね。

002B : アラララララ カジシータノ。ンデ シンディナー (A ーン) フスブス  
あららららら 風邪引いたの?じゃあ つらいなー。 (A うん) 節々[が]

イテーンダベツチャ。  
痛いんだろうね。

003A : ンダ ドコツチャー カラダジュー イデーンダ。  
そうだ どこというか 体中[が] 痛いんだ。

東松島市 場面設定会話

004B : ンー ンデ コイズ トレバ イーノガ。  
うん それで これ 取れば いいのか？

005A : ハイ。  
はい。

006B : ンデ ホラ アト ナヌスレバイーノ。  
それで ほら あと 何すればいいの？

007A : ン ア イ イーカラ、マズ ホンデ スコス ユックリヤスンデッカラ。  
うん あ × いいから、まず それで 少し ゆっくり休んでいるから。

008B : ンー ンデ ユックリ ヤスマイン。(A ハイ) ンデ アト ナヌガ アットキ  
それじゃ ゆっくり 休みなさい。(A はい) じゃ、あと 何か ある時

(A ハイ) コエ カケテケライン。

(A はい) 声 かけて下さい。

009A : ハイ ハイ アリガトー。  
はい はい ありがとう。

〈 禁止 〉

(13) 片付けの最中に、大事な写真をBが間違っ捨てようとしているときに、Aがそれを  
制止してどのようにいうか。

(13-1) AがBを制止する場面。

001B : イマサ カタズケッタツケ コンナ フグロ イッペー アンダгентモ  
今ね 片付けていたら こんな 袋[が] たくさん あるのだけれど

イラネベワ。 ナケ° デヤットワ。

いらぬいよね。捨ててやるよ。

002A : オイ チョサネーデケロ。ミナ ジュンジョデ ドーユーノアッカ  
おい 触らないでくれ。全部 順序で どういうのがあるのか

東松島市 場面設定会話

アイダサ ハサンデンノモ アッカラ ホイズ チョサネーデケロ。  
間に 挟んでいる物も あるから それ 触らないでくれ。

(13-2) AがBの大事な植木を捨てそうになった場面。

001B : オンチャン オンチャン、ホイズ ミズサ イレット イギゲッカラヤー、  
おじさん おじさん、 それ[=植木]水に 入れると 生き返るからねー、

マダ ナゲネデケロ。 トットイテケロ。  
まだ 捨てないでくれ。取っておいてくれ。

宮城県東松島市方言会話集（場面設定会話）注記

- 〔1〕 ズンツァン ナニスツタ。  
ズンツァンはAの兄のこと（Bは、Aの兄の息子の嫁）。コンニチワなどといった言葉はかけず、すぐに会話に入る。
- 〔2〕 オライサ アガレヤ。  
「（自分の家で）一緒に飲もう」ということ。
- 〔3〕 訪問時の声掛け  
話者によると親しい間柄では、訪問時にも「こんにちは」や「いるか」といったことばはかけず、直接用件を述べるとのこと。
- 〔4〕 手樽  
宮城県松島町の地名。
- 〔5〕 なし  
話者によれば、このような場合に不満を述べることはないと言う。そのため、この場面は収録を行わなかった。
- 〔6〕 ネマル  
宮城県栗原・牡鹿などでは「座る」の意、仙台などでは「寝る」の意を表す。

**宮城県東松島市方言会話集（場面設定会話）担当者**

**収録担当者**      津田 智史（東北大学大学院文学研究科博士後期課程 3 年）  
                         小原雄次郎（東北大学大学院文学研究科博士前期課程 2 年）  
                         林 芸 溱（東北大学大学院文学研究科博士前期課程 1 年）

**文字化担当者**    津田 智史（東北大学大学院文学研究科博士後期課程 3 年）  
                         林 芸 溱（東北大学大学院文学研究科博士前期課程 1 年）